

ナブテスコ株式会社

2025年12月期第1四半期 決算説明会資料

2025年4月30日

執行役員
碓井 浩

※ 2025年12月期の連結業績予想には、米国の関税政策による影響は織り込んでおりません。

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値、比率は四捨五入して表示しています。
本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

前年同期比 増収増益

連結売上高：817億円（YoY+13%） 連結営業利益：55億円（YoY+37%）

1

- 増収影響が大きい事業
精密減速機（+50億円）、鉄道車両用機器（+14億円）、自動ドア（+12億円）
- 増益影響が大きいセグメント
TRS（+9億円）

通期計画に対し、全社売上・営業利益は好調に推移

（通期計画への進捗率）売上高：24.3%、営業利益：29.2%

2

- 通期計画は据え置き
 - ✓ 1Q実績は計画を大幅に上回る進捗
 - ✓ 米国関税により景気の先行きに不透明感が残る

■ 前年同期比で営業利益率が1.1pt改善。金融損益は為替差損によるもの

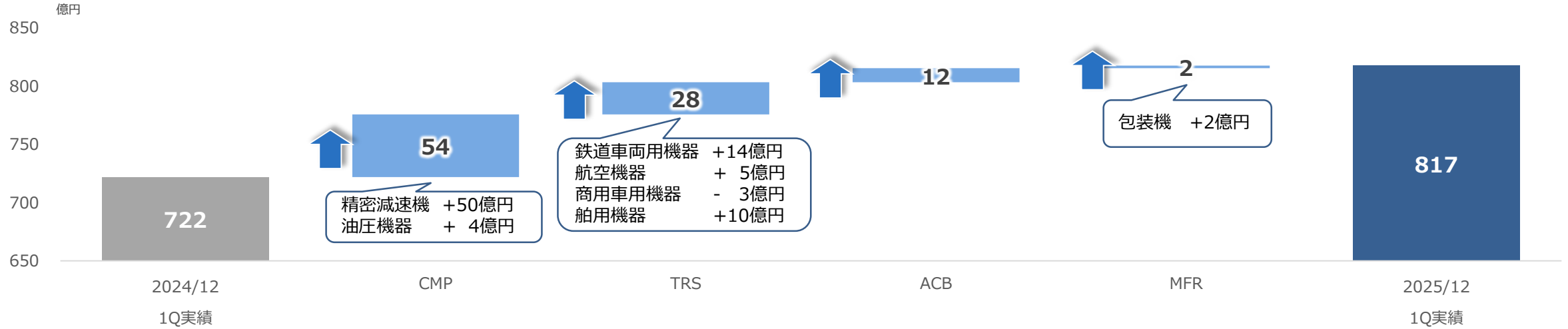
(単位：億円)

	2024/12 1Q実績 (A)	2025/12 1Q実績 (B)	差異 (B-A)
売上高	722	817	95
営業利益	40	55	15
(営業利益率)	5.5%	6.7%	1.1pt
金融損益	6	-5	-11
持分法投資利益	6	3	-2
税引前利益	51	53	1
親会社の所有者に帰属する当期利益	26	33	6

2025/12 期首計画 (C)	進捗率 (B/C)
3,360	24.3%
187	29.2%
5.6%	
-7	
17	
197	
131	

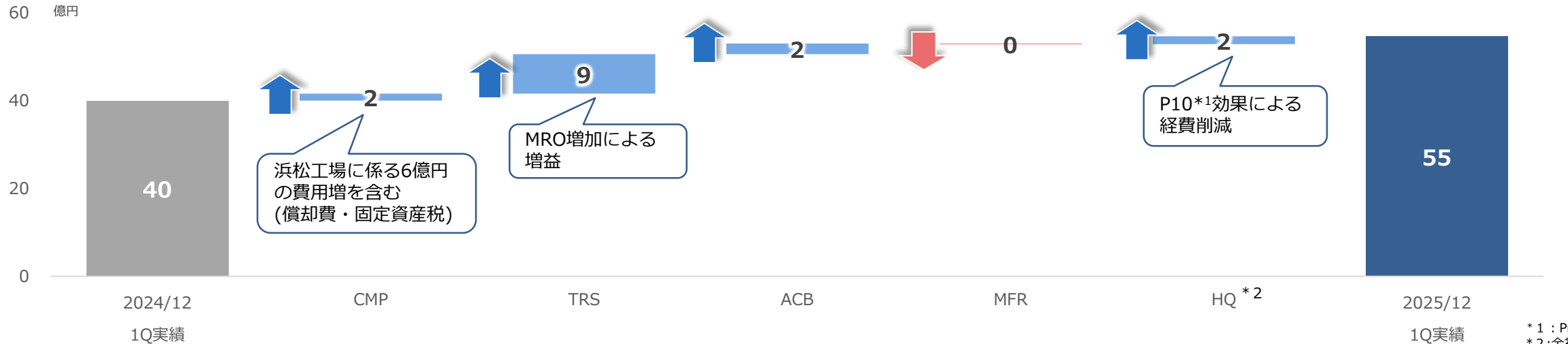
売上高

■ 精密減速機の需要回復に加え、TRS、ACBの需要が堅調に推移し増収



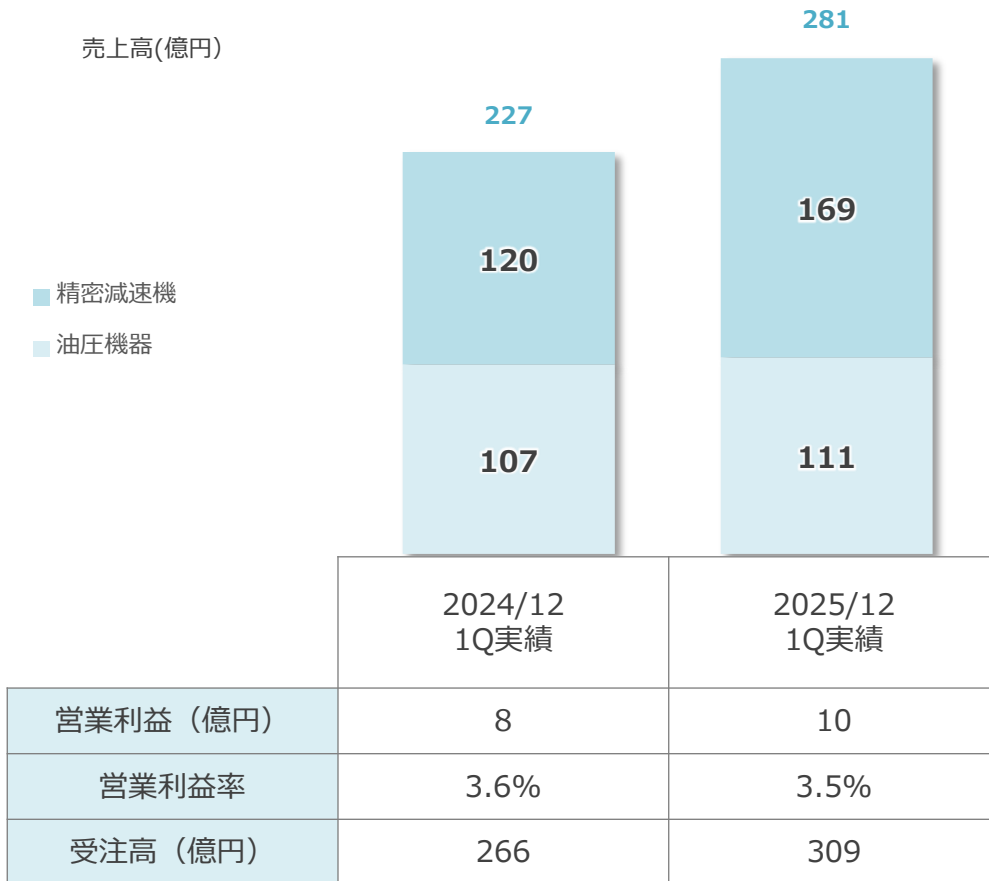
営業利益

■ 増収による増益に加え、Project 10効果により増益



*1 : Project 10
*2 : 全社又は消去

前年同期比 増収 ↗ 増益 ↗



セグメント業績 (前年同期比)

事業	業績
精密減速機	【ロボット向け】完成ロボット在庫が適正水準となり、徐々に需要回復
	【ロボット以外】米国関税影響を見据え、投資の様子見
油圧機器	【中国市場】春節需要に加え買い替え促進策による需要増加
	【中国市場以外】欧米の需要は低迷も、インドネシア向け輸出は好調
営業利益	2024年8月から稼働開始した浜松工場の償却費負担があるも、Project 10効果および増収により増益

通期見通し



事業	市場環境
精密減速機	【日本】安定的な自動化ニーズにより大きな需要環境の変化なし
	【中国】ロボットの在庫が適正化し、EV向けおよび自動化ニーズは堅調
	【欧米】米国での関税影響懸念から今後の設備投資動向が不透明
油圧機器	中国は堅調である一方、欧州での需要の低迷が継続

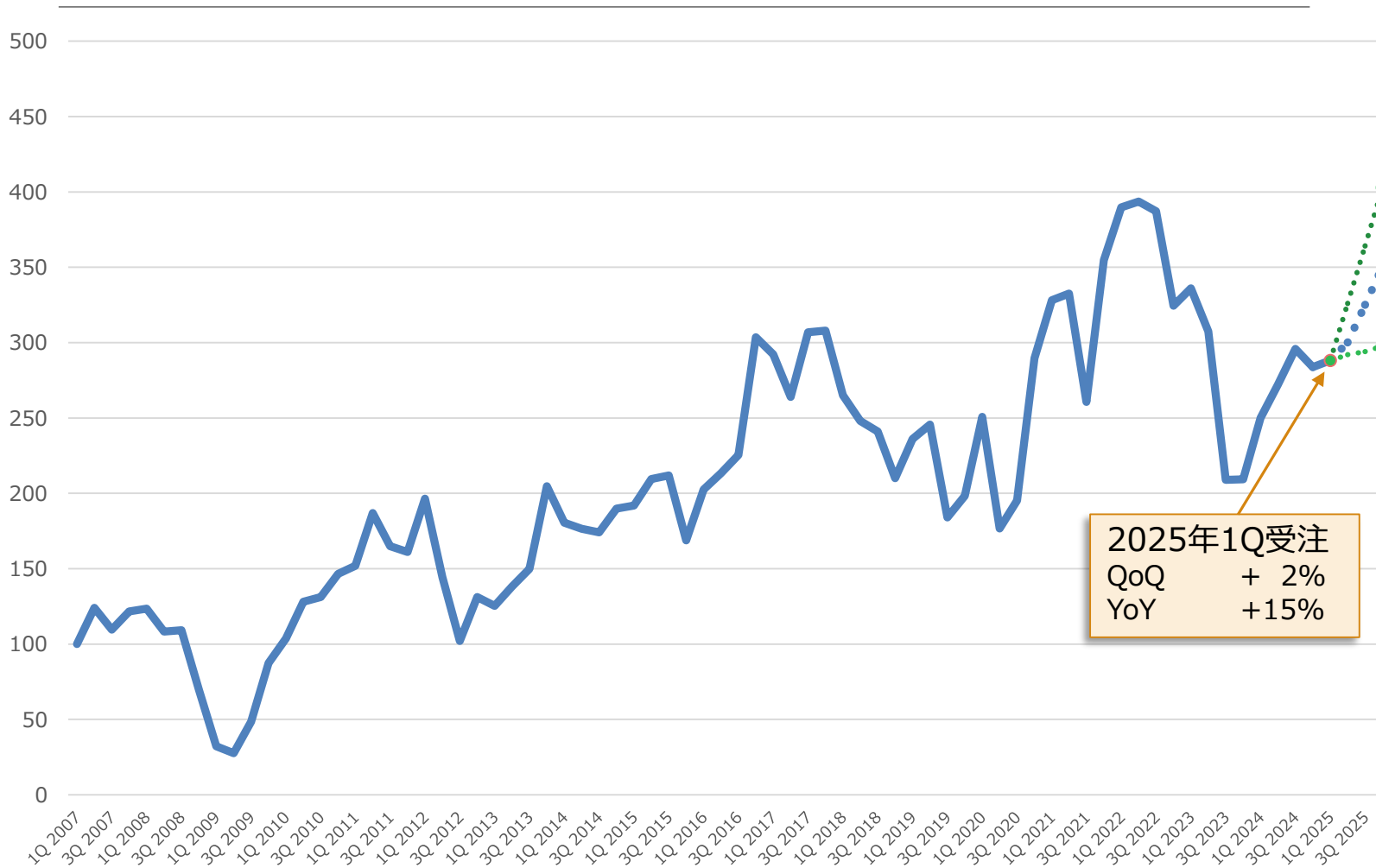
Project 10の進捗

前年同期比では償却費負担増も1QでProject 10が計画通りに進捗し増益。年内に段階的な効果が発現する予定

- ・ 人員の最適化(精密減速機：直接人員YoY-11%、油圧機器：直接人員YoY-10%)
- ・ 価格転嫁
- ・ コスト削減(油圧機器：中国の販売会社・工場の統合効果の発現予定)

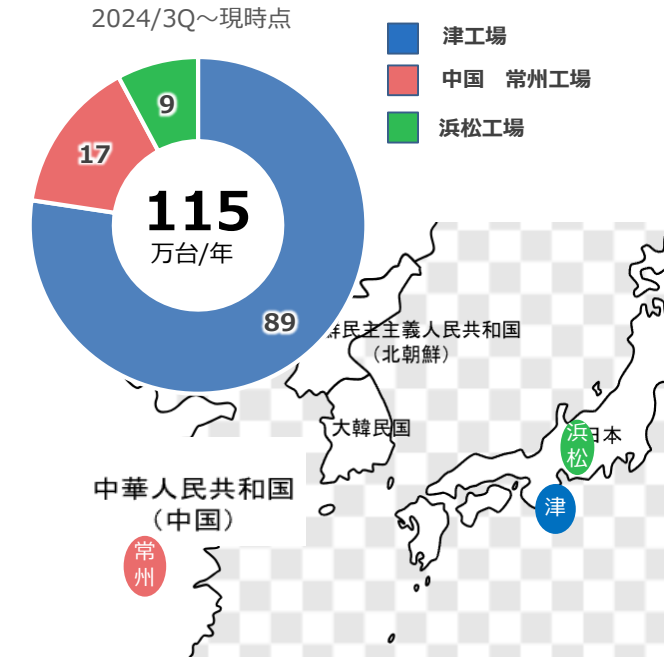
■ 2025年1Qの受注は想定線。下期での需要増加を見込む

《精密減速機 受注推移》



2007年1Q受注を100とした指数

《生産能力》



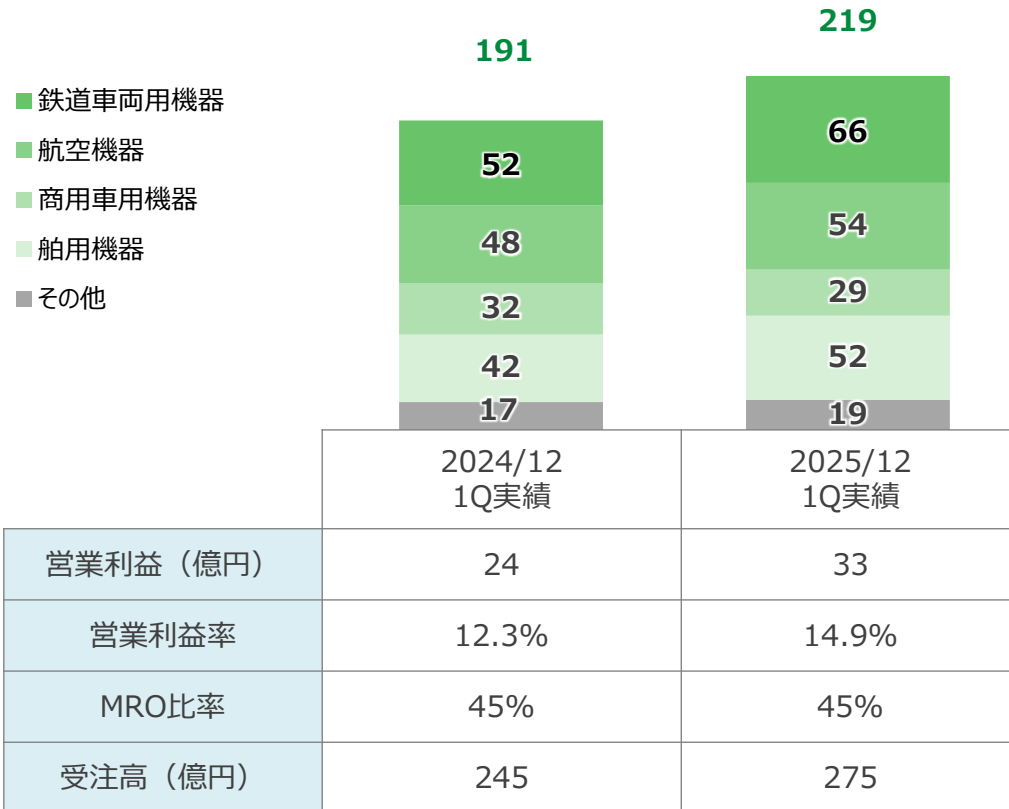
2025年1Qの平均工場稼働率

- 日本 津工場 60%
- 中国 常州工場 95%

※立ち上げ段階のため浜松工場の稼働率は非開示

前年同期比 増収 ↗ 増益 ↗

売上高(億円)



セグメント業績 (前年同期比)

事業	業績
鉄道車両用機器	国内外の新車およびMRO需要が好調により増収
航空機器	防衛予算拡大に伴う需要増加により増収
商用車用機器	国内顧客の生産が減少したことに加え、東南アジアの需要も停滞し減収
船用機器	新造船向けおよびMRO需要が好調により増収
営業利益	MRO額増加(YoY 20%増加)による構成差良化に加え、増収により増益

通期見通し

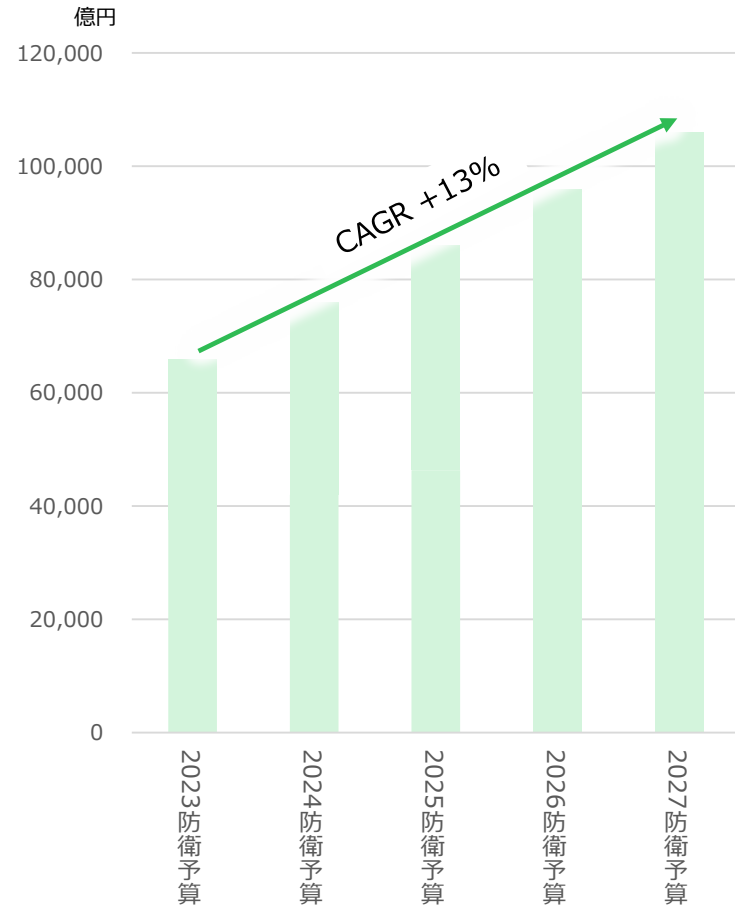


事業	市場環境
鉄道車両用機器	【新車】 需要は国内外で堅調に推移
	【MRO】 需要は国内外で底堅く推移
航空機器	【防衛】 需要は好調継続
	【民間】 米国関税の影響により一時的なコスト増加や生産レート変動のリスクあり
商用車用機器	顧客の減産長期化リスクあり
船用機器	新造船向けおよびMRO需要は好調継続

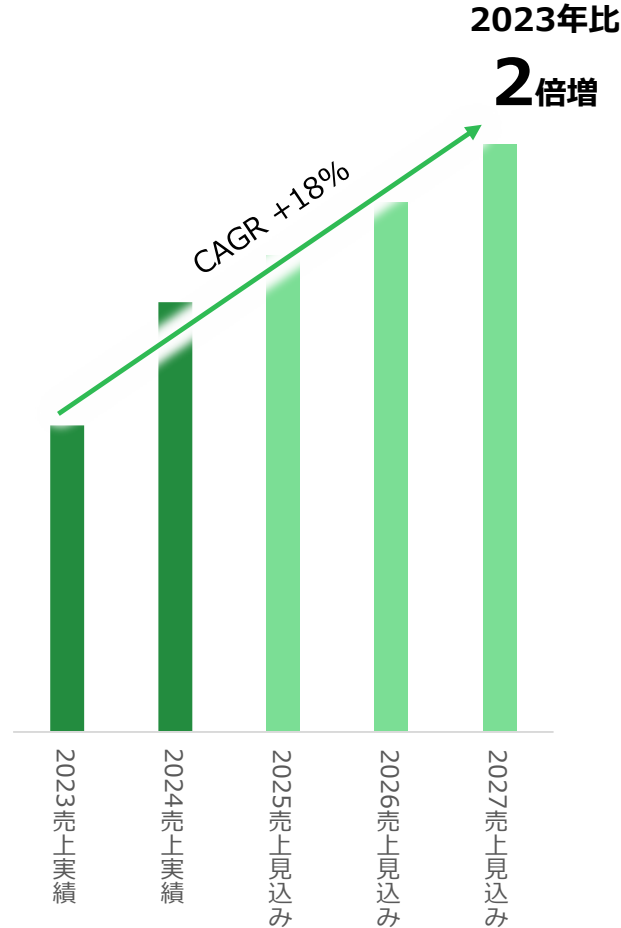
防衛向け売上

■ 2027年までに約2倍の売上成長を見込む

継続的な防衛予算の増加



当社防衛向け売上実績/見込み



陸海空領域の防衛力向上
- P-1, C-2, RC-2用部品の拡大

装備品の維持整備費・可動確保
- 補修向け部品の拡大

スタンド・オフ防衛能力強化
- 飛翔体向け納入部品の拡大

各種開発本格化
- 次期戦闘機・次期練習機・無人機の開発

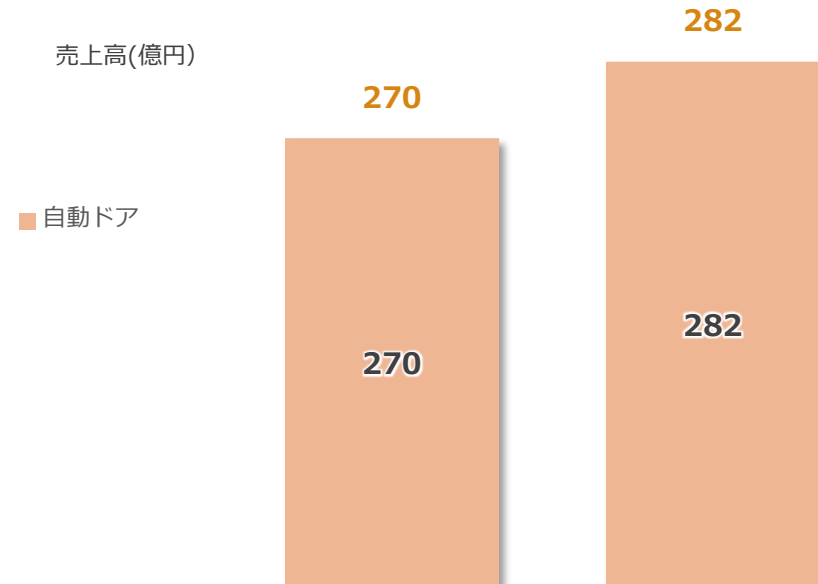


P-1
「出典：海上自衛隊ホームページ」



C-2
「出典：航空自衛隊ホームページ」

前年同期比 増収 ↗ 増益 ↗



	2024/12 1Q実績	2025/12 1Q実績
営業利益 (億円)	31	34
営業利益率	11.6%	12.0%
MRO比率	45%	45%
受注高 (億円)	274	268

セグメント業績 (前年同期比)

※PD:プラットホームドア

事業	業績
自動ドア	【国内】 再開発案件により新規建物用ドアの売上堅調が継続
	【海外】 建物用ドアは堅調
PD*	【国内】 プロジェクトが進行し増収
	【海外】 新規案件の選別受注により減収
営業利益	増収による増益

通期見通し



事業	市場環境
自動ドア	【国内】 需要は堅調。再開発案件は26年頃まで続く見込み
	【海外】 北米および欧州は市場環境の変化なし
PD*	【国内】 バリアフリー法の効果もあり、PD向け需要は堅調
	【海外】 変化なし

前年同期比 増収 ↗ 微減益 ↘

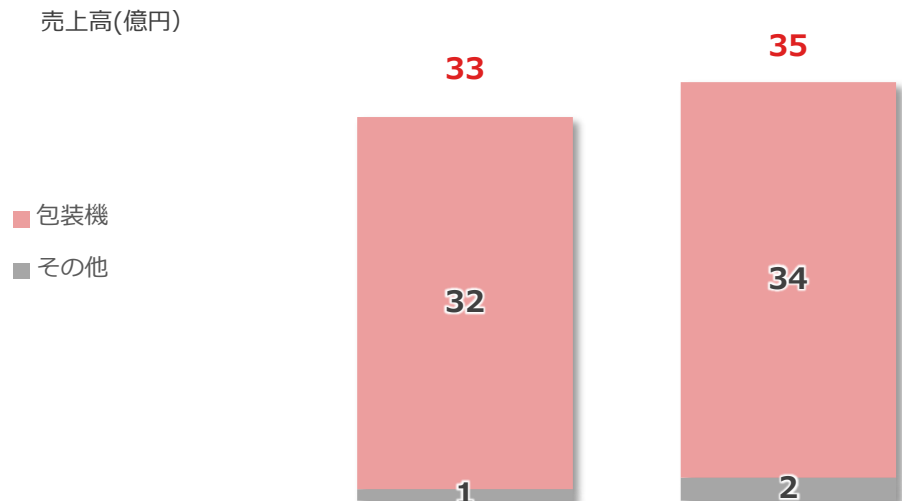
セグメント業績（前年同期比）

事業	業績
包装機	国内の食品メーカーでの設備更新需要により増収
営業利益	MROの減少により微減

通期見通し ☁

事業	市場環境
包装機	【国内】 食品メーカーを中心に設備投資が再開
	【海外】 欧米での投資冷え込みによる需要の不透明感あり

売上高(億円)



営業利益 (億円)

3

3

営業利益率

9.0%

8.1%

MRO比率 (包装機)

45%

40%

受注高 (億円)

37

41

■ 昨年末から1Qにかけては大きな変化なし

(単位：億円)	2024/12 期末 2024年12月31日	2025/12 1Q期末 2025年3月31日	差異
資産	4,455	4,425	-30
（現預金等）	745	778	33
（売上債権）	921	802	-119
（棚卸資産）	534	566	32
（非流動資産）	2,165	2,160	-5
負債	1,583	1,604	22
（借入金）	319	423	105
資本	2,873	2,821	-52
（非支配持分）	172	168	-4
親会社の所有者に帰属する持分	2,701	2,653	-48
親会社所有者帰属持分比率：	60.6%	59.9%	

Data solution
(データ活用)

船用機器 | 3.4%の燃費向上を実現

「TELEGRAPH AGENT™(指令船速に応じた船速制御)」と「Cassandra(船舶の状態監視)」を搭載したイースタン・カーライナー株式会社様の船舶による燃費実証実験(アジア、中東、豪州航路)で平均3.4%の燃費向上を実現。今後同社向けの船舶への搭載拡大予定

市場規模: 5,000トン以上の船舶(グローバル)



Integration
(システム化)

油圧機器 | フル電動ショベルを参考出品

Bauma2025に参考出品
ミニショベル向け
減速機により8軸駆動を実現し、
国内外の建機メーカーへ供給予定

市場想定: 70億円~/2030年



新事業 AGV/AMR向け無線充電システムの納入開始

米国WiBotic社製品の日本での独占販売権のもと、
1kwモデルの発表により製造
メーカーへの納入開始

特徴: 広い給電エリア、軽量
市場想定: 30億円/2027年



Electrification
(電動化)

精密減速機 | AGV/AMR向けメカナムホイール拡販

特徴: 位置決め精度、耐荷重、振動の少なさ、耐久性、コンパクト
採用事例: 外装取付アシストマシン、製造支援モバイルロボット、
無人フォークリフト、床下脱着機、ステージ足場移動車
市場想定: 30億円/2027年(メカナムマーケット)



Mechanics

Appendix

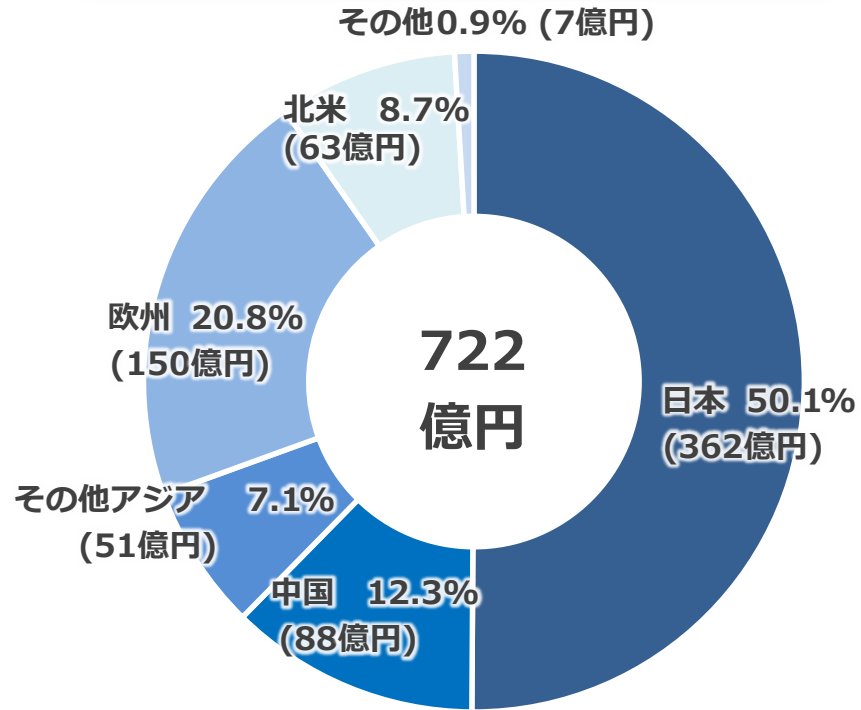
■ 主な設備投資は精密減速機の浜松工場向け

(単位：億円)	2024/12 1Q実績 (A)	2025/12 1Q実績 (B)	前年同期比 (B-A)
設備投資額	63	40	-23
研究開発費	28	27	-1
減価償却費	39	44	5

2025/12 通期計画	2025/12 通期計画 進捗率
180	22%
135	20%
173	25%

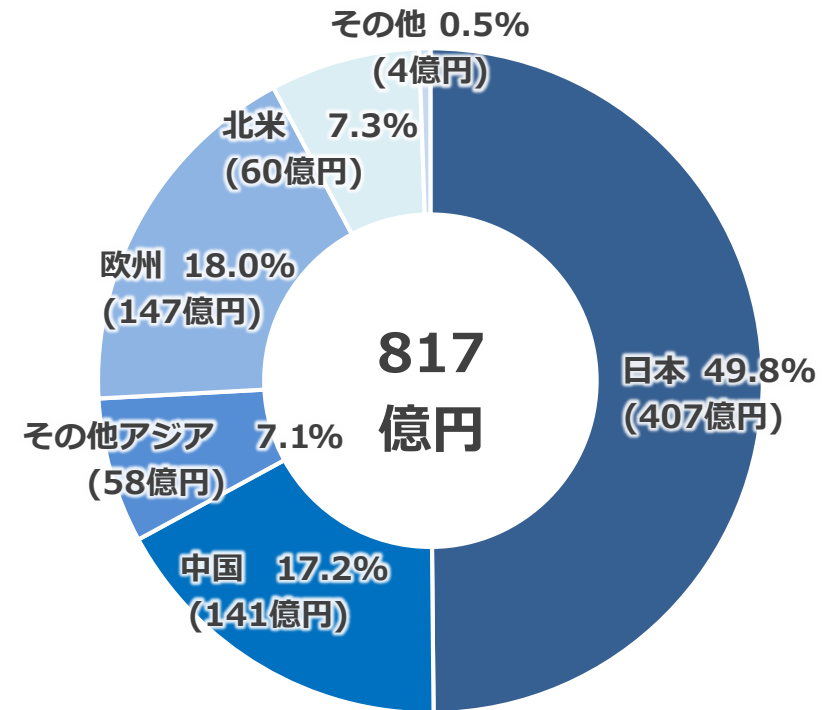


2024/12 1Q実績



海外売上高	360億円
海外売上高比率	49.9%

2025/12 1Q実績



海外売上高	410億円
海外売上高比率	50.2%

■ 為替レート

(単位：円)

	2024/12 1Q実績	2025/12 1Q実績	2025-2027 中期経営計画
USD	149.88	151.21	140.00
RMB	21.00	20.99	19.50
EUR	162.15	159.35	155.00
CHF	170.19	168.68	165.00

■ 為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

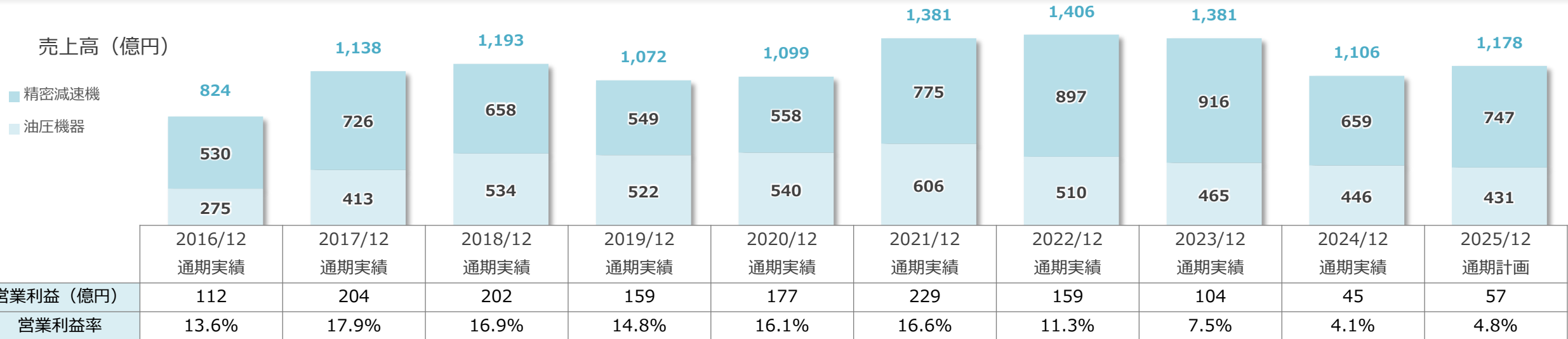
(単位：百万円)

	2025/12 1Q実績	
	売上	営業利益
USD	35	14
RMB	500	10
EUR	20	5
CHF	58	1

	2025/12 通期計画	
	売上	営業利益
	201	73
	1,899	53
	91	22
	244	13

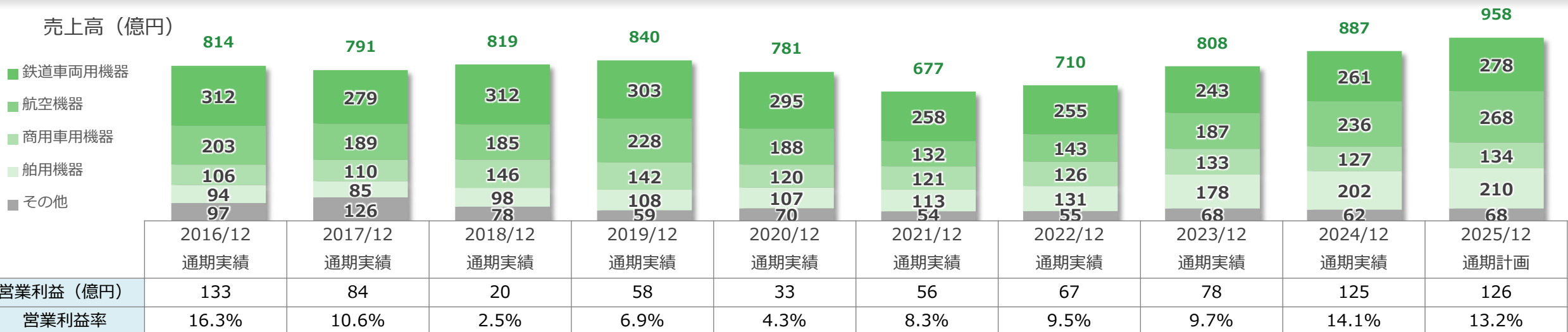
コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

売上高 (億円)



トランスポートソリューションセグメント (TRS)

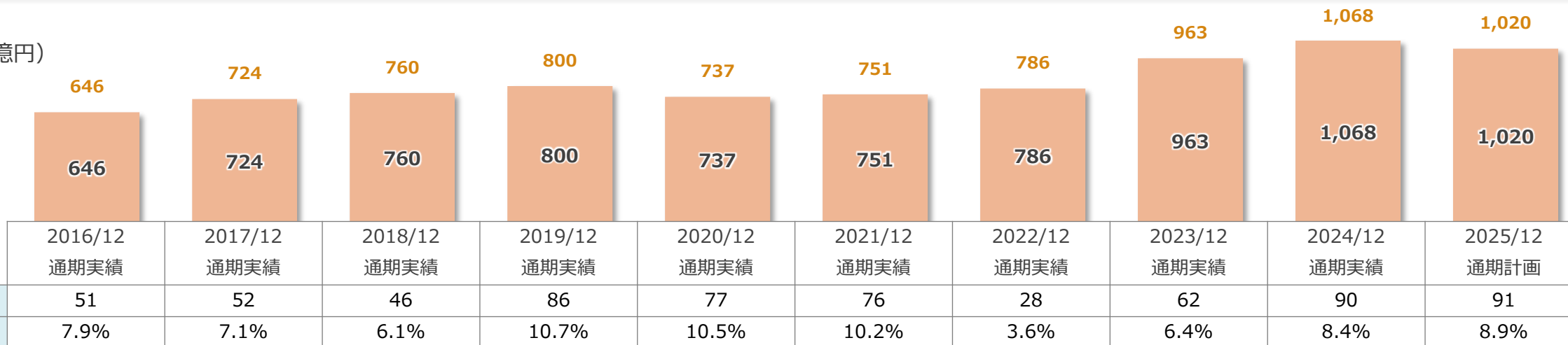
売上高 (億円)



アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

売上高 (億円)

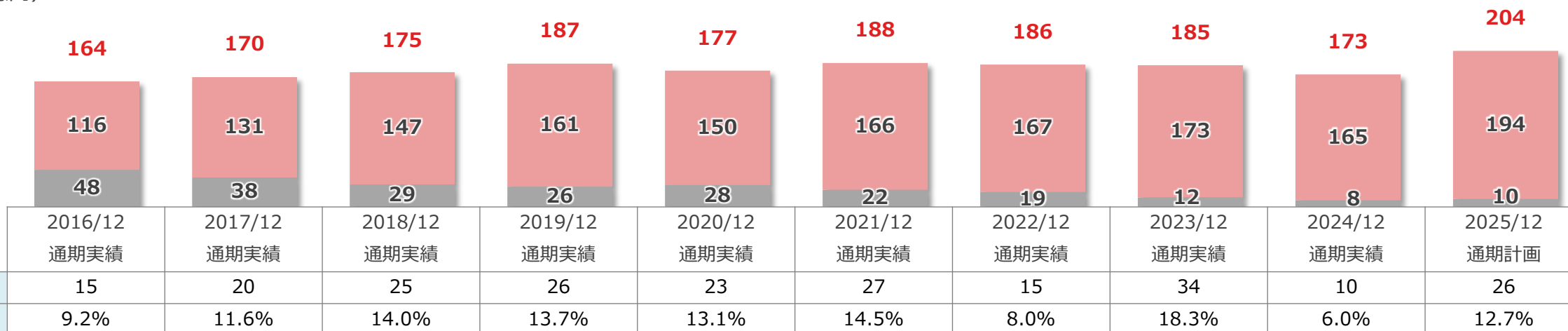
■ 自動ドア



マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高 (億円)

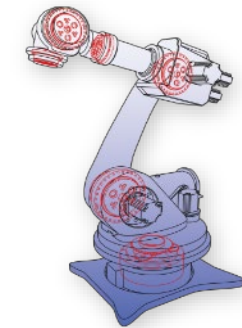
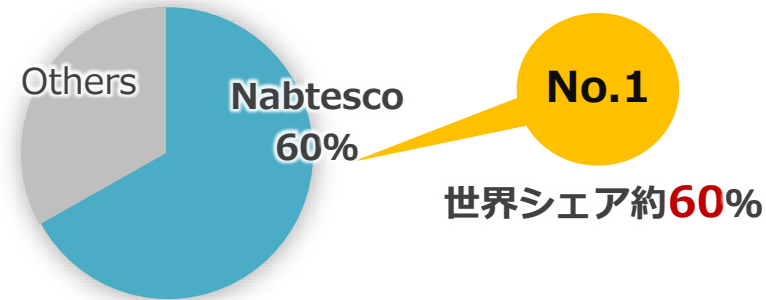
■ 包装機
■ その他



注：シェアは当社推計

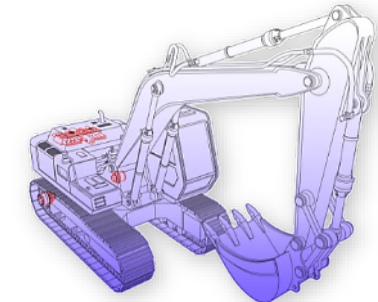
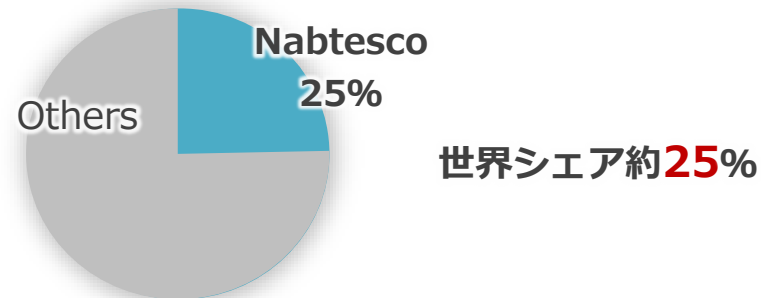
精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ 油圧ショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

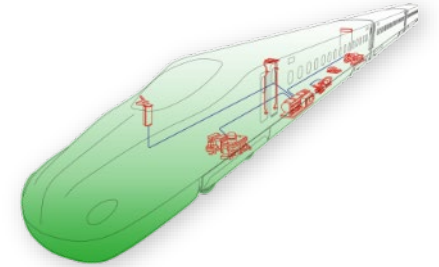
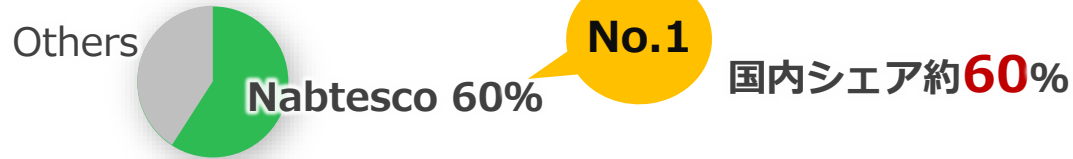
注：シェアは当社推計

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム

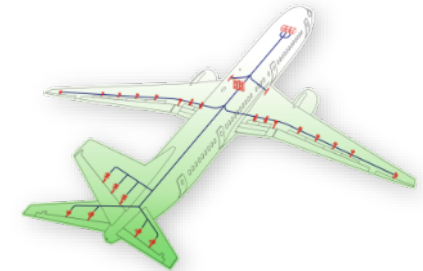
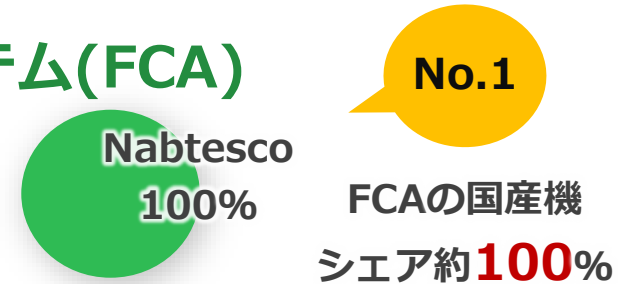


■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日立製作所、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

注：シェアは当社推計

商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

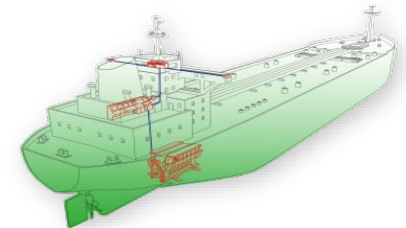
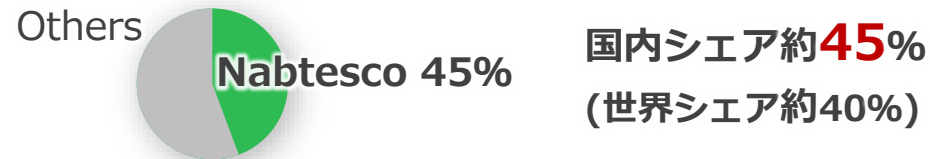


■ 商用車用エアド라이어



船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 船用機器

ジャパンエンジンコーポレーション、川崎重工業、マキタ、日立造船マリンエンジン、三井E&S
HD Hyundai Heavy Industries (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、Hanwha Engine (韓)

注：シェアは当社推計

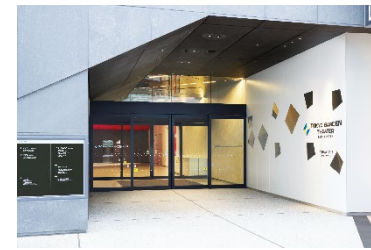
自動ドア

■ 自動ドア開閉装置



No.1

建物用自動ドア
国内シェア約**60%**
(世界トップクラス)



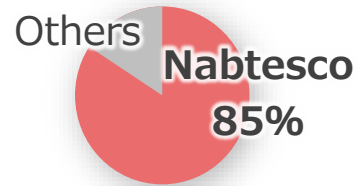
主要顧客 (敬称略)

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットホームドア：JR・民鉄各社、各国都市交通向け

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■ レトルト食品用充填包装機



No.1

国内シェア約**85%**



主要顧客 (敬称略)

■ 包装機

DM三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

Nabtesco

